

# Ver.10.97.1 の新機能

Ver.10.97.1 の新機能と注意事項について以下にお知らせします。詳細については以下のリンクまたはインストールメディアに掲載している“What's New”(英語版)および、“Resolved Issue”(英語版)のドキュメントをご参照ください。

What's New: <https://docs.iconics.com/V10.97.1/Release-Docs/ICONICS-Suite-Whats-New-10971.pdf> (英語版)

Resolved Issues:<https://docs.iconics.com/V10.97.1/Release-Docs/ICONICS-Suite-Resolved-Issues-10971.pdf>  
(英語版)

本ドキュメントは 2023 年 9 月に内容が更新されました。

## Critical Fixes Rollup(Ver.10.97.1\_CFR) が利用可能になりました。

Ver.10.97.1 Critical Fixes Rollup は ICONICS 社 Web サイト ICONICS Community Portal からダウンロード可能です。GENESIS64 安定性を向上させるため適用をお願いします。

## <新機能>

新機能アラームロギング Hyper Alarm Logger : 大容量ストレージ、冗長な機能をもつ高機能なアラーム・イベントロガー

ASHRAE135-2020 および接続の安全性向上に基づいて設計された SC Point Manager を使用した BACnet のテクニカルプレビュー

Mitsubishi Electric FA Connector の PLC (RSCPU,QCPU,QSCPU,LCPU,FXCPU) と GOT のサポート製品の追加

OPC UA 構造化変数

CFSWorX・AlertWorX:

- 新アラーム通知:
  - Microsoft Azure 利用の SMS
  - Sendinblue email サービス対応
- FDDWorX, Hyper Alarm と OPC UA の Ack 応答
- ジオフェンスを表示し、EarthWorX でエンジニアの移動経路を表示

GraphWorX64 のイベントでコマンドを実行し、デスクトップ (WPF) と HTML5 の両方で動作するスクリプトを置き換えるため、簡単で保守しやすいオプションを追加

HTML5WebHMI および MobileHMI ディスプレイでの 3D ビューアのテクニカルプレビュー

Internet of Things:

- MQTT Sparkplug 接続に対応
- IoTWorX の初期設定の簡易化
- たけびし製 DeviceGateway OPC UA Server に対応
- Hyper Alarm Server のパブリッシング対応

AnalytiX-BI:

- 性能向上
- クエリ機能の拡張
- パラメータ化されたビュー

ReportWorX64:

- すべてのテンプレートの事前定義されたパラメータの作成

- 一般的なユースケースの事前設定されたパラメータ対応
- ユーザーがパラメータ値としてタグを選択できるよう対応

## <注意事項>

以下の項目は、ICONICS Suite の旧バージョンから本バージョンにアップグレードする場合に、特に注意していただきたい内容です。なお、以下に記載の各項目の詳細については、説明の最後に記載してある参照 ID を用いて、“What’s New”(英語版)を検索ください。

- 10.96.2 または 10.97 から 10.97.1 にアップグレードされたシステムでは、以下のポイントマネージャが表示されない可能性があります。対象は、BACnet Secure Connect、Mitsubishi Electric FA Connector、Hyper Alarm Logger、Hyper Historian Query Interface、Facility AnalytiX Query Interface、IoT Publisher です。ポイントマネージャの設定を変更せずに使用しているお客様は、この問題は発生しません。また、問題が発生した場合、解決するには、FwxServer.PointManagers.config ファイルを編集する必要があります。このファイルを更新する手順については、ICONICS ナレッジベースの記事 KB-3860 を参照してください。(参照 ID 88364)
- OPC UA Server の設定は Workbench のプロジェクトエクスプローラの【プラットフォームサービス】から【データ接続】>【OPC UA】>【OPC UA ネットワーク】に移動されました。(参照 ID 83452)
- 以前のバージョンでは、FrameWorX が OPC UA Server に接続すると、サーバの証明書を認証しなくても接続に成功していました。Ver.10.97.1 で接続を成功させるには、証明書の認証が必要となりました。この変更内容は、OPC Foundation の推奨事項に沿っており、安全性が向上しますが、Ver.10.97.1 にアップグレードすると証明書が認証されるまで OPC UA サーバに接続できなくなる可能性があります。証明書は、【データ接続】>【OPCUA】>【OPCUA ネットワーク】>【サーバの【設定】】アイコン>【接続のテスト】で認証操作します。証明書の認証が原因で接続が失敗した場合、お客様に証明書を認証するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。(参照 ID 83452)
- FrameWorX OPC UA Server はデフォルトで無効になっています。その為、サードパーティの OPC UA クライアントが FrameWorX からデータを読み取ることができなくなります。詳細な内容と有効にするための手順については、“What’s New!”内の詳細記載先をご確認ください。(参照 ID 63708)
- OPC-UA Server、FrameWorX Server、GenBroker64 のネットワーク探索はデフォルトで無効になっています。この機能は、システムの安全性を下げるため、非推奨となりました。お客様は、サーバのネットワークを参照するのではなく、ネットワーク内のデータブラウザに表示されるリモートサーバを設定する必要があります。(参照 ID83540)
- BACnet ポイントカウントが以下の様に変更されました。PresentValue タグの代わりに一意のオブジェクトがカウントされます。GENESIS64 BasicSCADA ライセンスはこの変更の影響を受けません。(参照 ID84855)
- GraphWorX64 デスクトップモードおよび GraphWorX ウェブブラウザモードで使用される、組み込み Web ブラウザは、Chromium ベースの Microsoft Edge ブラウザを使用するようにアップグレードされました。Internet Explorer に基づく古い Web ブラウザを使用したいお客様は、Internet Explorer に戻すことができます。“What’s New!”内の詳細記載先をご確認ください。(参照 ID 80656)

- EtherNet/IP コネクタは、Ver.10.97.1 では、デフォルトで Workbench に表示されなくなりました。Ver.10.97 以前のバージョンから Ver.10.97.1 にアップグレードされ、EtherNet/IP コネクタをご使用のお客様は、ヘルプに記載された手順に従い、復元をお願いします。EtherNet/IP への接続をご検討されている方は、たけびし製デバイスエクスプローラの活用をご検討ください。(参照 ID85331)
- AnalytiX-BI クエリエンジンのアップグレードを実施したため、Ver.10.97 以前のバージョンで記載されたクエリを Ver.10.97.1 で使用する場合、クエリの更新が必要になる場合があります。詳細については What's NEW!の以下の参照 ID をご確認ください。(参照 ID77790)